

教科	技術・家庭科（技術分野）	学年	2年	標準授業時間数	35時間
----	--------------	----	----	---------	------

目 標	教科目標	生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。
	具体目標 (到達目標)	実践的・体験的な学習活動を通して、エネルギー利用に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。 また、情報基礎に関する基礎的な知識と技術を習得する。

評 価	観 点	生活や技術への関心・意欲・態度	25%	エネルギー変換に関する技術について関心を持ち、生活をよりよくするために知識と技術を進んで活用しようとする。 情報基礎に関する技術に関して関心を持つ。
		生活を創意工夫する能力	25%	生活と技術との関わりについて見直し、課題を見つけるとともに、その解決のために技術を適切に活用して工夫し創造する。
		生活の技能	25%	エネルギー利用に必要な基礎的な技術を身につけ、その技術を安全で適切に活用できる。 情報基礎に関する基礎的な技術を身につける。
		生活や技術についての知識・理解	25%	生活や産業の中での技術の役割について理解し、エネルギー利用に必要な基礎的な知識を身につけている。 情報基礎に必要な知識を身につける。
	材 料	授業態度、学習ノート、作品の評価、定期テスト、提出物状況、忘れ物の点検。		
	方 法	以上4つの観点を総合的に判断し評価する。		

学 習 方 法	使用教材	教科書 技術家庭科 技術分野 (開隆堂)
	学習形態	学級を出席番号の前半と後半とに分け、20人程度で学習する。 講義・実験・製作活動は班単位(2～3人)で学習を行う。
	学 校	熱・光・風などのエネルギーの利用や特徴を考える。 エネルギー変換のしくみを調べる。 エネルギー変換を利用した作品を実験および製作する。また、製作を通して工具の安全な使い方を修得する。 これからのエネルギー利用について考える。 電子部品の働きや役割について知る。 コンピュータの基礎・基本的な仕組みを知り、操作できるようにする。
	家 庭	教科書や学習ノートを見直す。 授業の内容を教科書などを参考に自分がわかりやすいように整理する。 習ったことや分かったことを家庭生活の中で生かしていく。 課題をさらに自分で追求していく。

年間授業計画

月	学習の内容	時数	学習のポイント
4	自然界のエネルギーの利用を考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・水力、火力、風力、原子力のエネルギーはどのように生活に利用されているのか調べる。 ・電気エネルギーと生活について考えよう。 ・電気エネルギーを光や熱、動力に変えるためにはどのようにしたらいいだろうか調べる。 	3	個人や班で考え、発表する。 発電や機械を中心に考える。 家庭電化製品などを取り上げる。
5	電気回路のしくみを考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・電気回路は電源、負荷、導線、スイッチから構成されていることを知る。 ・簡単な回路図や図記号を知る。 ・回路計を用いて回路の点検や目盛りの値を読むことが出来る。 	4	交流電源と直流電源を知る。 直列回路と並列回路を知る。 階段灯も取り上げる。 回路計を一人一台ずつ使用する。
6	延長コードの製作をしよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・導通試験、絶縁試験について知る。 	3	はんだづけの仕方を実習を通して身につける。 工具（ニッパ、ラジオペンチ、ドライバ）の使い方を知る。
7	電気エネルギー変換の利用を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・電気エネルギーを光、熱、動力に変える仕組みや情報を伝える仕組みを知る。 ・電子部品（抵抗器、コンデンサ、ダイオード、トランジスタなど）の働きを知る。 	3	ストーブ、蛍光灯、電動機説明器で知る。
9	増幅回路（ダイナモ発電機付きラジオ）の製作をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・工程や部品を確認する。 	10	作業内容や適切な工具についてのポイントを押さえる。 小さな部品やネジ類を紛失しないように注意する。 ＋－など極性に注意する。 ニッパの使い方気をつける。 (リード線の飛び散り) 電気はんだごての使い方気をつける。(特に火傷)
10	<ul style="list-style-type: none"> ・部品の取り付けをする。 		
11	<ul style="list-style-type: none"> ・部品のリード線の折り曲げと切断をする。 ・部品の半田づけ作業。 ・組み立て、調整 		
12	情報基礎について簡単なキーボード操作を行う。	10	ワープロを中心にパソコン操作を行う。
1			
2			
3	これからのエネルギーの利用について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・人を大切にする技術を調べる。 ・環境を大切にする技術を調べる。 	2	
合 計 時 数		35	